

教員による研究室紹介
インターネットシステム工学研究室
(長田研)

長田智和 @ 琉球大学工学部情報工学科
E-Mail:nagayan@ie.u-ryukyu.ac.jp



以下のホームページを開いてください。

<http://n-lab.info/>



どんな研究室？

- ❁ **実システム開発**や**プロジェクト活動**などの経験ができる研究室です
- ❁ **実践重視**の研究室です（机上作業だけで物事を解決しようとする人には不向き）
- ❁ 理論を深める研究がやりたい人は不向き
- ❁ 研究室というよりは「**開発室**」です
 - ❁ 研究やっているなんて、おこがましくて言えません…



どんな研究をやっている？

❁ インターネットシステム工学

❁ サーバーシステム、ネットワークシステム

❁ 通信プロトコル、トラフィックエンジニアリング

❁ 情報システムを応用する研究

- 地域インターネット環境を改善する
- セキュリティに強いシステムを開発する
- 学校教育を支援する
- 障がい者の生活を豊かにする etc.



どんな研究をやっている？

❁ 沖縄インターネットエクスチェンジ(OIX)

- ❁ 通信におけるレイテンシ低減(=通信高速化)

- ❁ トランジットコスト低減(=通信費用低減)

→一昨年5月に商用サービスとしてリリース！

❁ 地域イントラ相互接続

- ❁ 全県的な足回り通信環境の改善

- ❁ OpenFlowを用いたトラフィックフローの最適化

❁ ID連携によるWebサービスの統合化

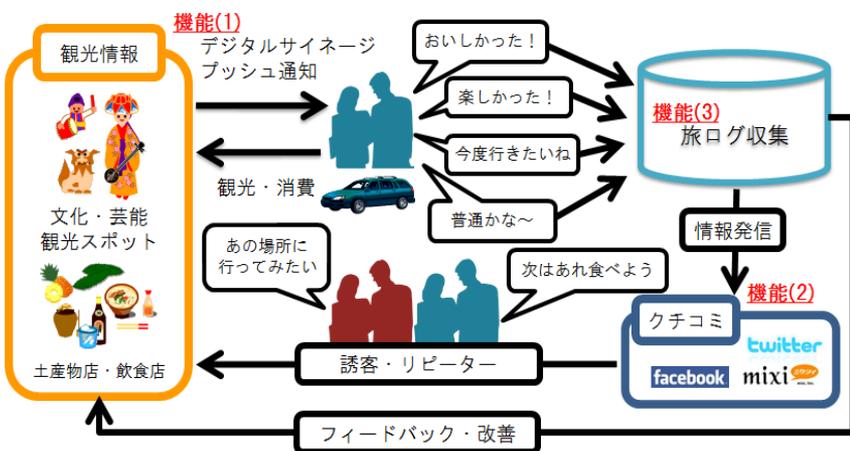
→特許を出願し企業と実用化を検討中！



地域の観光資源を活用した観光客誘客のための事業者間連携システムの研究開発 ～ID連携に基づく地域の観光産業活性化のための観光サービス連携基盤の構築～

国や沖縄県が進める観光施策による効果（沖縄県への観光客誘客）を利用し、地域に観光客が立ち寄り、地域の優れた観光資源（自然，史跡，文化遺産，郷土料理，特産物等）にアクセスしてもらうことができる仕組みを、独自のID連携技術を始めとするICTを活用することで実現する！

ユビキタスサービスプラットフォーム



観光ナビゲーションシステム

観光客を地域へ誘客するとともに、地域の観光資源を案内するためのスマートフォン用の観光ナビゲーションシステム

【機能】

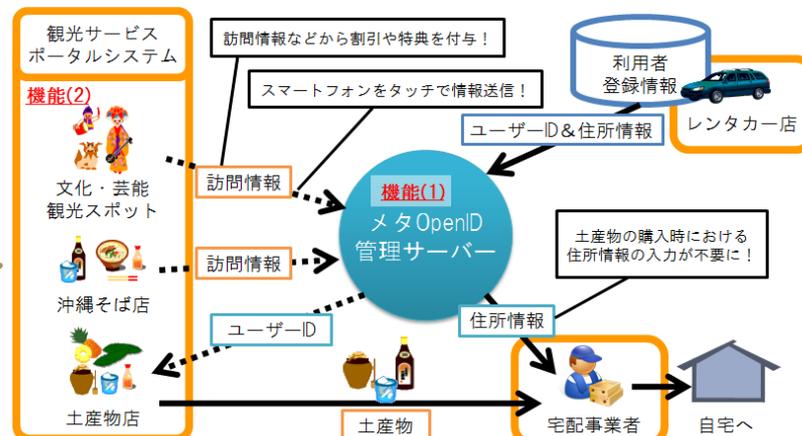
- (1) 観光客を地域に誘客するためのデジタルサイネージ機能
- (2) 観光客が地域の観光資源についての情報を発信する機能
- (3) 観光客の観光・消費行動等の履歴（ログ）を収集する機能

観光サービス連携システム

地域の観光サービスに関連する複数の事業者が連携して、観光サービスに「付加価値」を与える観光サービス連携システム

【機能】

- (1) 共通ID（メタOpenID）管理サーバー機能
- (2) 観光サービスポータルシステム機能



観光ナビゲーションシステム + 観光サービス連携システム =
観光サービス事業者間連携システム

2016年までにプラットフォームを構築し、
複数の地域で広域的に適用・展開する！

求める学生は？

- ❁ 情報システム・情報ネットワーク技術に興味を持っている人！（泥臭い仕事が好きの人^^）
 - ❁ 進学を考えている人！
 - ❁ 自ら考え、自発的に行動できる人！
 - ❁ 協調性、社会性に優れた人！
 - ❁ 何はなくとも「根性」のある人！
- …これらを磨いていきたい人！



研究室の運営方針

- ❁ **仕事と休みのメリハリを大切にしています**
- ❁ **基本的に学生の自主性に任せています**
- ❁ **チームプレー&個人プレーはバランスよく**
- ❁ **大学にいる時間が長い人は恩恵あります**
(毎日顔を見せてくれる人は、可愛がられます^^)



研究室の運営方針

- ❁ **ゼミは週2回(全体ゼミ、個別ゼミ)**
- ❁ **1人2台は端末が割り当たります**
- ❁ **Win,Mac,Linuxなどの制約はありません**
- ❁ **研究・お勉強以外のイベント歓迎!**



さらに詳しいことは、以下のページを参照のこと。

(長田の個人ページ)

<http://n-lab.info/>

↑ここを見れば、私個人のことは大抵分かると思います

(長田研のホームページ)

<http://www.ns.ie.u-ryukyu.ac.jp/>

↑宴会のblogばかりですみません・・・^^

実は会社もやっています！

合同会社ネットクリエイト・テクニカルアドバイザー

<http://www.ncreate.jp/> (Webページ制作、情報システム開発、etc.)



最後に一言

研究室選びは、

ミスマッチのないよう、

慎重に検討して下さい。

以上です。

